消費税減税に対する生活者意識（2026年5月緊急調査結果）

別紙2　クラスター分析結果

2026年5月28日

三菱総合研究所
政策・経済センター

「食料品消費税減税意識」に関するクラスター分析結果 1

● クラスター分析の方法など

- 分析対象：「消費税に関する意識調査」のQ1_1～Q1_8の8問

設問	設問全文	設問表記
Q1-1	2年間の食料品消費税ゼロ%を、実施時期が少し先（1年から1年半後）になってでも必ず実現するべきだ	2年間消費税ゼロを実施すべき
Q1-2	2年間の食料品消費税減税はやるべきだが、早くできる（半年後開始など）のであれば食料品消費税ゼロではなく、1%にする、というのもアリだと思う	2年間消費税1%もあり
Q1-3	2年間分の食料品消費税相当の減税はやるべきだが、外食産業への影響などいろいろな問題が解決されていないので、食料品消費税を直接下げることにこだわらず、2年間の食料品ゼロ%と同等の家計支援策（金券などの配布など）をやった方がよい	消費税ゼロ同等の支援策をやればいい
Q1-4	そもそも、2年間ではなく、食料品消費税については、財源の問題をクリアできる程度に、恒久的な低減を検討するべきだ（8%をずっと5%にするなど）。	財源考慮しつつ恒久減税
Q1-5	そもそも、食料品消費税については、恒久的にゼロにするべきだ	ずっと消費税ゼロにすべき
Q1-6	食料品消費税は低いほど嬉しいが、将来世代の負担が増加するような減税には反対だ	将来世代負担になる減税は反対
Q1-7	2年間では効果も限定的で、POSシステムの変更などの手間や外食産業への影響など問題が大きすぎるため、食料品消費税減税は、そもそも実施すべきではない（しなくていいと思う）	2年間の消費税減税は実施すべきでない
Q1-8	そもそも、食料品消費税8%を下げる必要はない（下げるべきではない）	消費税は下げる必要ない

- サンプル数：3240サンプル
- クラスター数：5
- 手法：K-means法（random state=42）
- 回答選択肢の扱い：1～5の回答に5・4・3・2・1点を与えて得点化／「6：わからない」は欠損値として独立した回答カテゴリとして使用

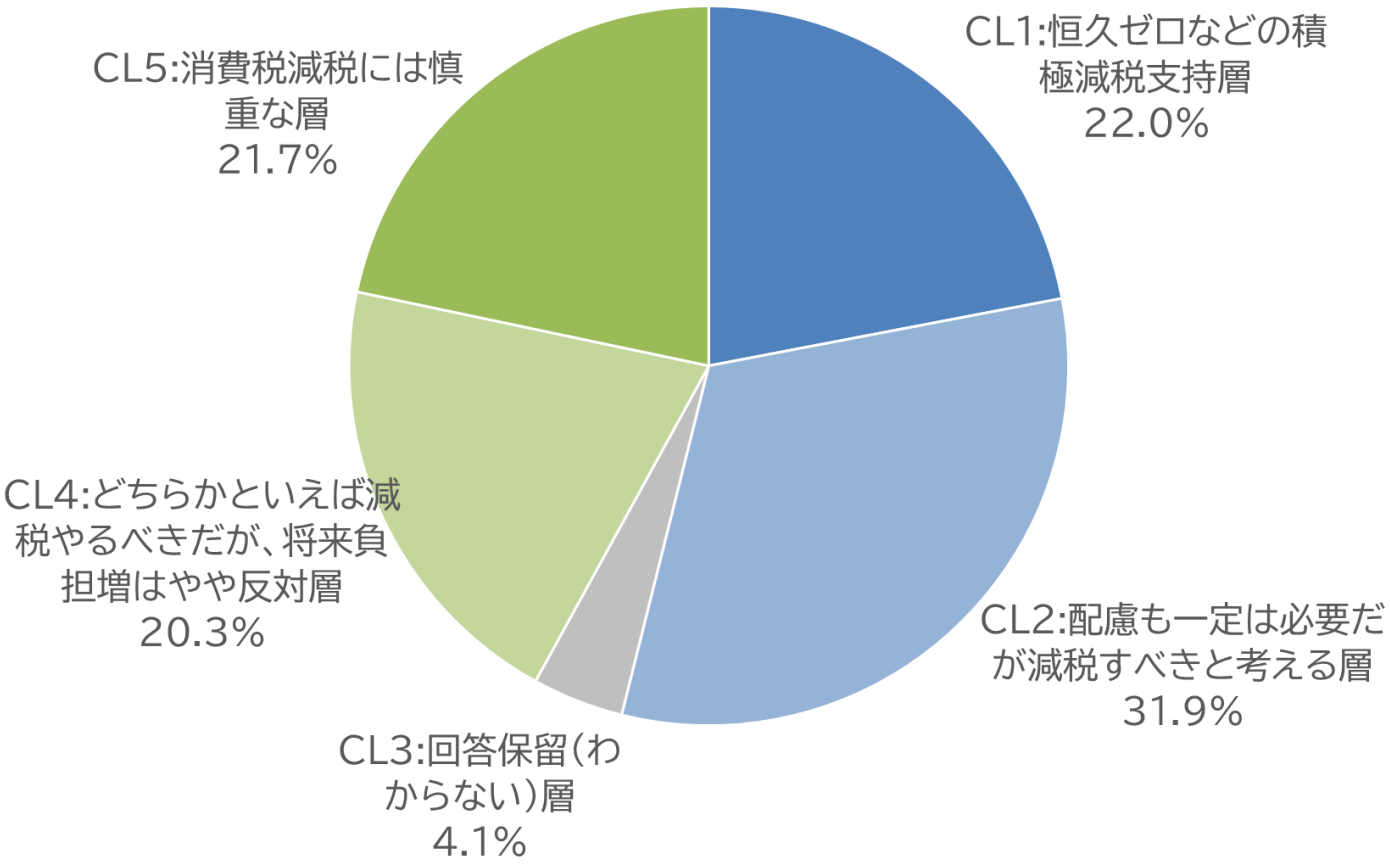
回答	選択肢
1	非常にそう思う（賛成する）
2	ややそう思う（やや賛成）
3	どちらともいえない
4	あまりそう思わない（やや反対）
5	全くそう思わない（反対）
6	わからない

Copyright © Mitsubishi Research Institute

「食料品消費税減税意識」に関するクラスター分析結果 2

● 生成された5つのクラスター

- 5つのクラスターのうち、消費税減税を積極的に求める層はCL1の22%で、消費税減税すべきでないと考えるCL5の21.7%とほぼ同等。
- そのほかのクラスターは、配慮も一定は必要だが減税をすべきと考えるCL2が31.9%、減税はやるべきだが将来負担増などには反対とするCL4が20.3%。
- CL1＋2＋4の合計は74.2%と、減税に賛成の層が太宗を占めるが、3つのクラスターの減税に対する温度感はかなり異なる。



(n=3,240)

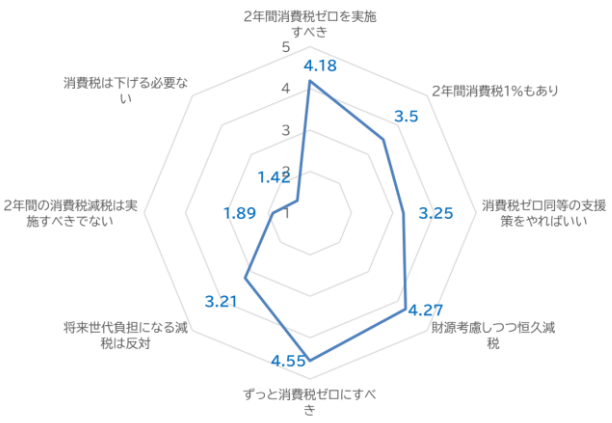
Copyright © Mitsubishi Research Institute

「食料品消費税減税意識」に関するクラスター分析結果 3

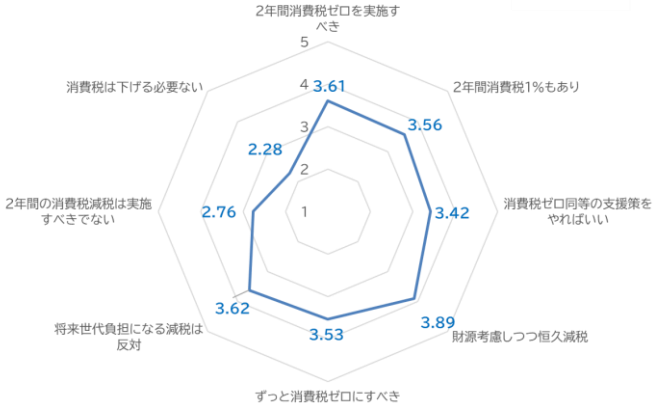
● 5つのクラスターの特徴

- CL1は「消費税ゼロ」、CL2は「財政考慮しつつ恒久減税」、CL4・5は「将来性だ負担増は反対」への賛成度合いが最も高い。
- 「2年間の消費税ゼロ」への賛成度合いが最も高いクラスターは存在しない。

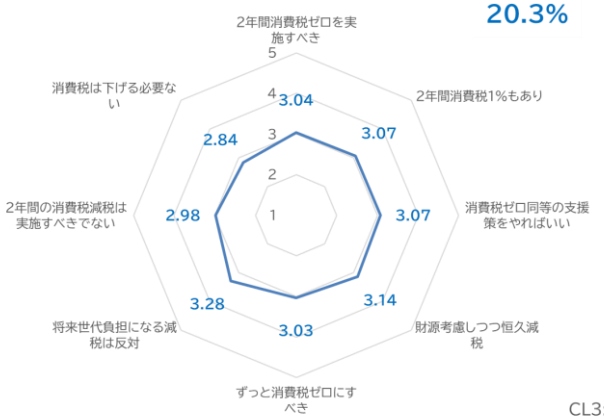
CL1:恒久ゼロなどの積極減税支持層 22.0%



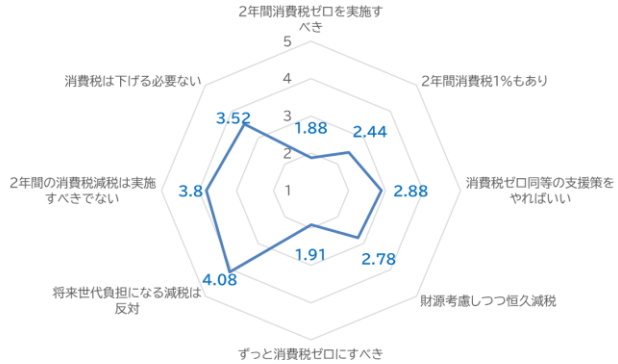
CL2:配慮も一定は必要だが減税すべきと考える層 31.9%



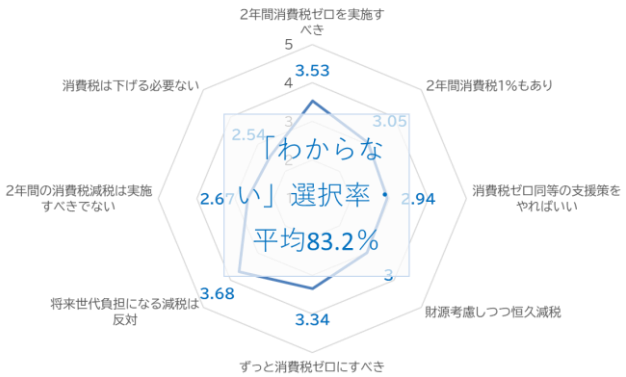
CL4:どちらかといえば減税やるべきだが、将来負担増はやや反対層 20.3%



CL5:消費税減税には慎重な層 21.7%



CL3:回答保留(わからない)層 4.1%

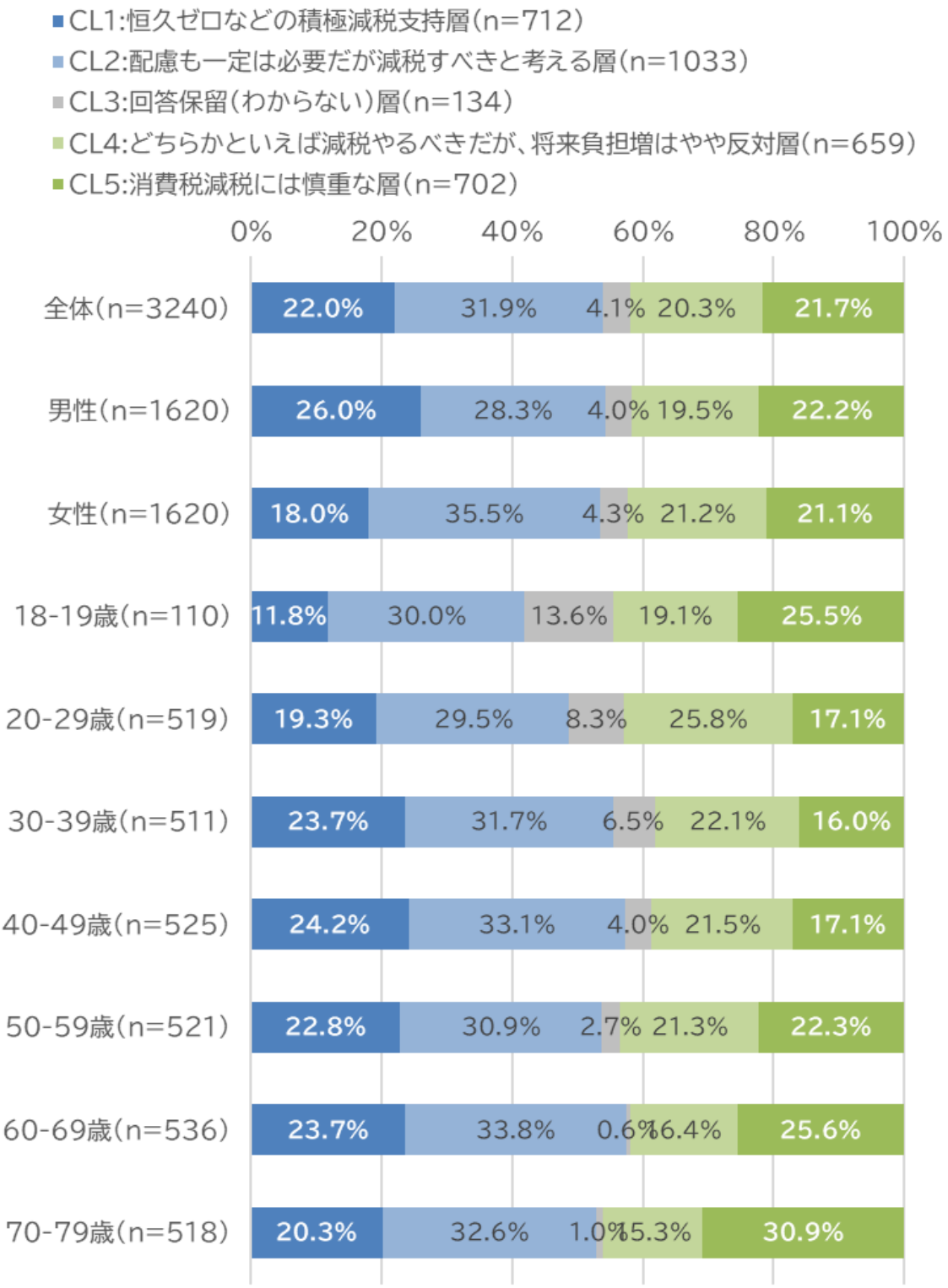


Copyright © Mitsubishi Research Institute

「食料品消費税減税意識」に関するクラスター分析結果 4

● 性・年代別×5クラスター

- 男女別では、男性でCL1、女性はCL2の比率が大きい
- 年代別では、年代が上がるほど、CL5（消費税減税に慎重層）の比率が大きい

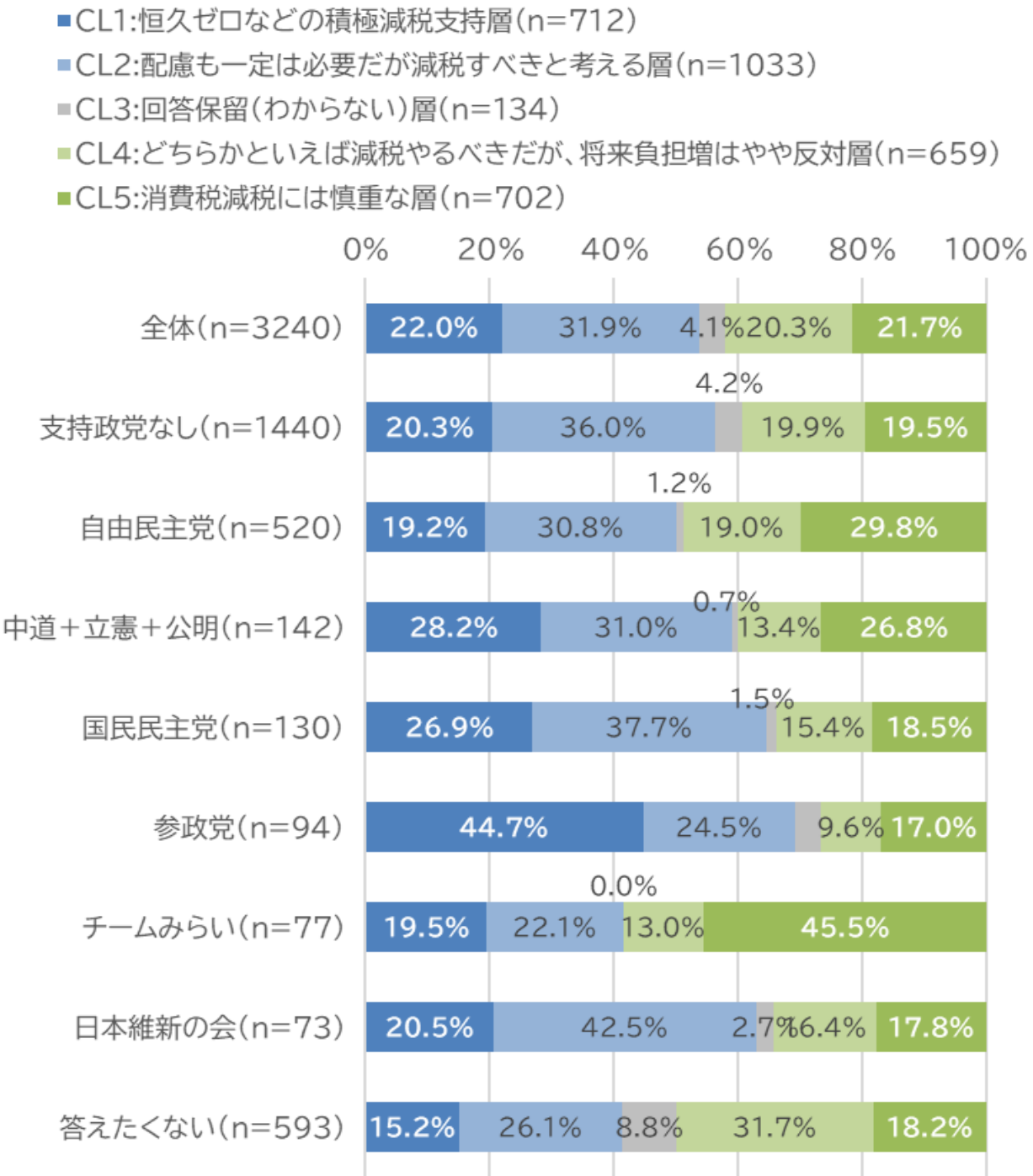


Copyright © Mitsubishi Research Institute

「食料品消費税減税意識」に関するクラスター分析結果 4

● 支持政党別の特徴

- サンプル数が70以上になる政党のみ、集計を行った。
- 「参政党」支持層でCL1、「チームみらい」支持層でCL5の比率が非常に大きい。
- 「自民党」支持層でCL5の比率がやや大きい

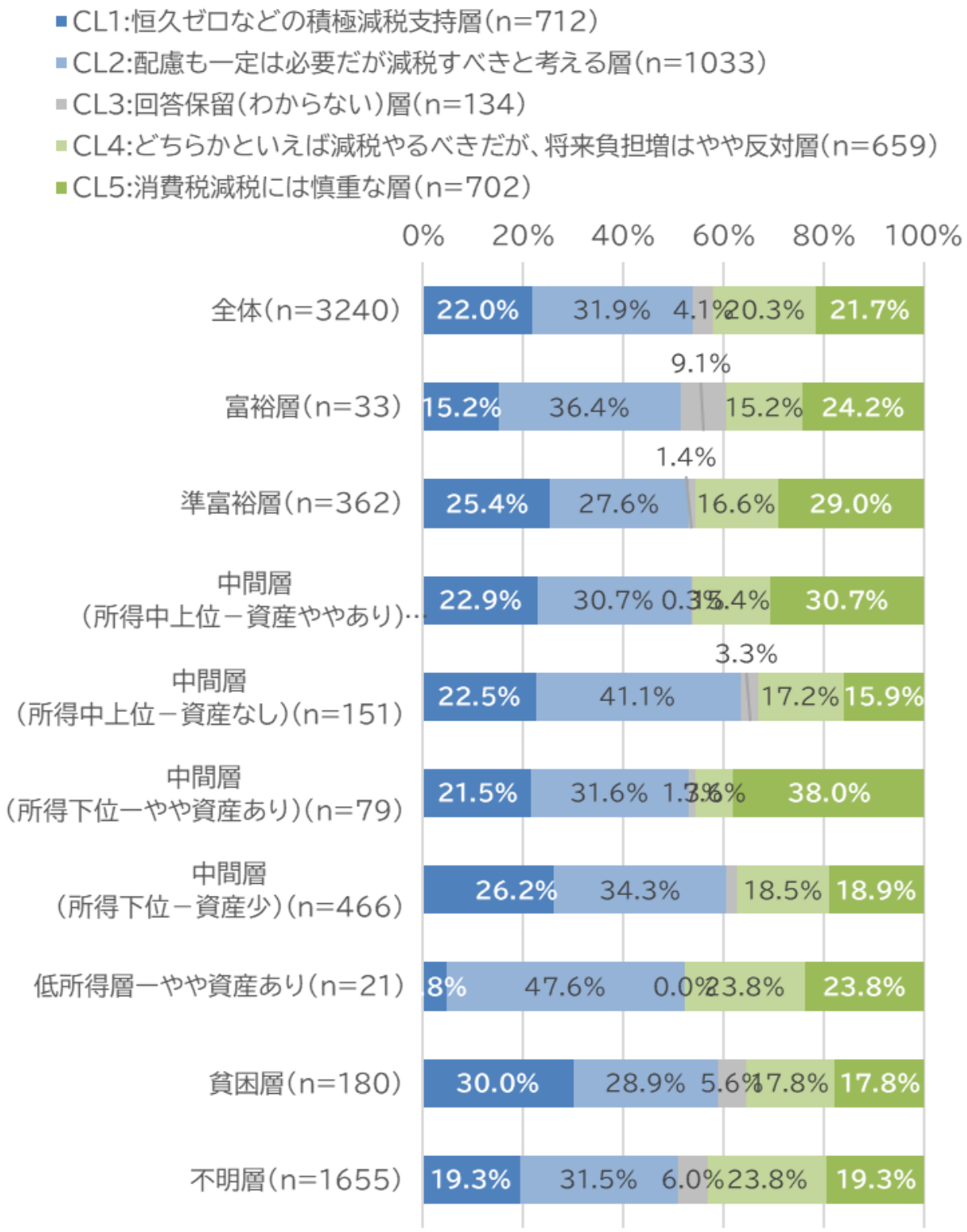


Copyright © Mitsubishi Research Institute

「食料品消費税減税意識」に関するクラスター分析結果 4

● 富裕度別の特徴

- 富裕層よりも「中間層ー資産ややあり」において、CL5の比率が高まる傾向がある
- 貧困層はCL1比率が高く、CL5比率が低くなる



Copyright © Mitsubishi Research Institute

● 本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 三菱総合研究所

政策・経済センター

[連 絡 先]

pecgroup@mri.co.jp

Copyright © Mitsubishi Research Institute